

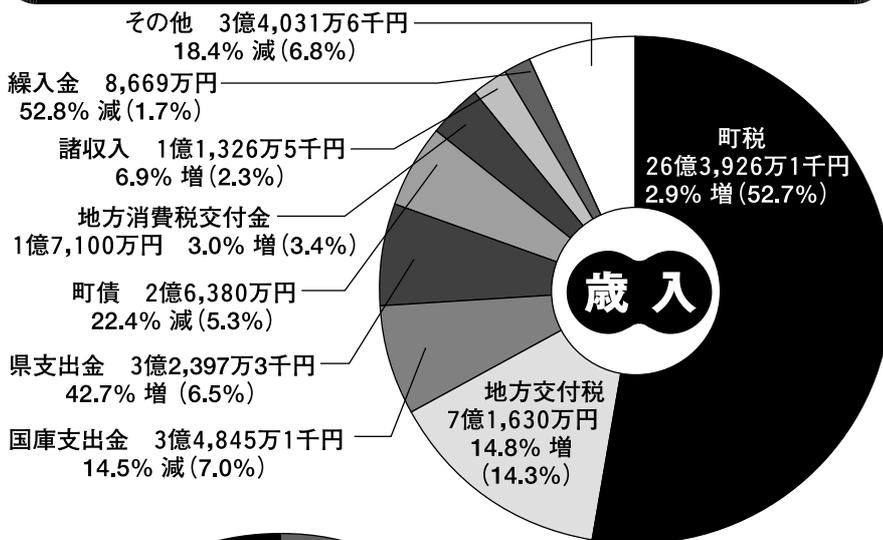
「自立」「協働」「健康」の3つのテーマを推進

平成20年度当初予算

一般会計50億305万6千円 でスタート



一般会計 歳入歳出予算 (総額50億305万6千円 0.7%減)

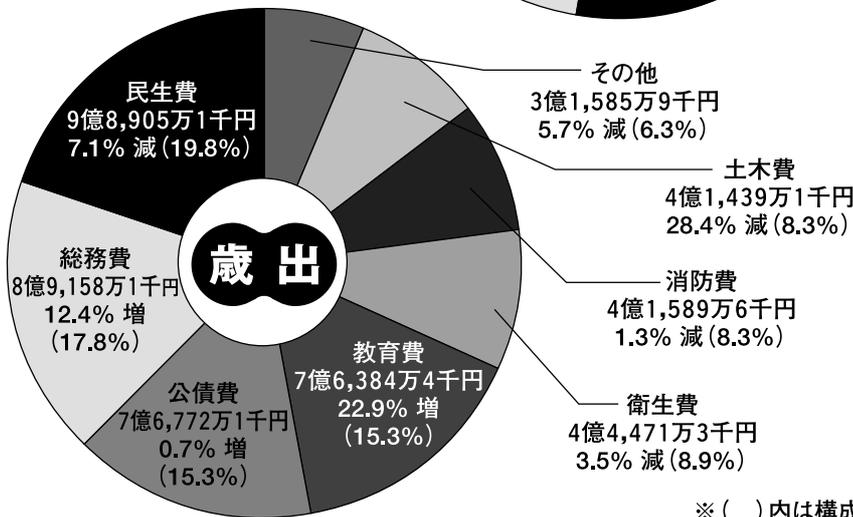


厳しい財政状況の中、従来から行ってきた人件費や物件費など内部経費の抑制を続けながら、「自立」「協働」「健康」を柱としたそれぞれの施策に重点を置いて予算編成を行った結果、平成20年度町の一般会計当初予算は、50億305万6千円で、前年度と比べて3,383万円、0.7%の減となっています。

【歳入】

町税は7,375万円
2.9%増

町税は、平成19年度の税源移譲の影響などから前年度と比べて7,375万円、2.9%の増となっています。また、国庫支出金は、障害者自立支援給付費や児童手当



※()内は構成比

支給に関する増額があるものの地方道路交付金などの減少により、前年度と比べて5,907万2千円、14.5%の減、県支支出金は自立支援給付費、児童手当支給費に加え、後期高齢者医療に関する負担金などの影響により、9,700万2千円、42.7%の大幅な増となりました。

【歳出】

地方交付税は9,230万円
14.8%増

地方交付税は、制度改正による「地方再生対策費」の創設や町の経営努力が反映される「頑張る地方応援プログラム」などの影響により、前年度と比べて9,230万円、14.8%の増となりました。

なお、地方交付税のピークは平成12年度で、決算額は14億1,434万4千円でしたが、以後、交付税総額の減少と町債である臨時財政対策債への振替が行われ、平成20年度当初予算の地方交付税と臨時財政対策債2億1,970万円を合わせて比較すると4億7,834万4千円の減となり、依然として厳しい財政状況が続いています。

【歳出】

義務的経費の削減と事務事業の抜本的見直し

歳出については、安定的な住民サービスを提供するため、引き続き人件費や内部経費の削減に努力しました。特別職(町長)の給料を20%減額、全職員の地域手当の支給をゼロおよび管理職手当の減

一般会計予算の 分野別主要事業

1 明るく健やかに暮らせる思いやりのあるまちづくり

【保健福祉】

・児童手当支給事業	1億4,478 万円
・障害者自立支援給付事業	1億579 万円
・重度心身障害者医療費給付事業	2,683 万円
・予防接種事業	2,078 万円
・放課後子どもプラン事業	2,037 万円
・健康増進事業	1,635 万円
・障害者地域生活支援事業	1,441 万円
・母子保健事業	1,080 万円
・介護予防事業	673 万円
・岩橋保育園施設改修事業	467 万円
・緊急通報装置貸与事業	257 万円
・生きがいデイサービス事業	254 万円
・健康づくり講座	58 万円
・食育推進事業	23 万円

2 豊かな心を育み生きがいを感じられるまちづくり

【教育文化】

・酒々井小学校屋内運動場改築事業	3,476 万円
・本佐倉城跡整備事業	1,193 万円
・スクールバス運行業務委託事業	803 万円
・小中学校の充実(教材備品・図書)	594 万円
・社会体育振興事業	568 万円
・小・中学校スクールサポート事業	349 万円
・生涯学習推進事業	340 万円
・ふれあい教室運営事業	276 万円
・指定文化財保存普及事業	160 万円
・本佐倉城跡国史跡指定10周年記念事業	100 万円
・酒々井小学校創立100周年記念事業	50 万円

3 いつまでも安心して住み続けられるまちづくり

【生活環境】

・消防・防災事業	1,595万円
・交通安全緊急対策事業	800万円
・ゴミの減量化事業	703万円
・(仮称)駅前交番設置事業	376万円
・不法投棄防止事業	189万円

4 いこいと安らぎのある機能的なまちづくり

【都市基盤】

・地域活性化事業	1億5,416 万円
・町道維持管理事業	1,760 万円
・総合公園管理事業	1,125 万円
・酒々井インターチェンジ整備促進事業	621 万円

5 いきいきとした力があふれる創造的なまちづくり

【産業経済】

・ちびっこ天国運営事業	2,815 万円
・ふるさと産品育成事業	643 万円
・生産調整推進対策事業	451 万円
・商工会事業補助金	380 万円

6 住む人の心がかよう健全なまちづくり

【地域社会と行財政】

・情報化推進事業	1,513 万円
・路線価付設・画地計算(土地評価)業務	671 万円
・自治振興助成事業	590 万円
・課税客体調査業務	564 万円
・住民協働課設置	279 万円
・住民公益活動補助金	100 万円

特別会計

国民健康保険	20億5,575万8千円	(13.5%増)
下水道事業	3億7,312万2千円	(12.7%減)
老人保健	9,880万2千円	(90.3%減)
介護保険	8億1,302万3千円	(4.3%増)
後期高齢者医療	1億2,675万8千円	(皆増)

注) : 平成20年度から新たに後期高齢者医療制度に関する特別会計を設置しました。

企業会計

町の企業会計には水道事業会計があり、収益的収支と資本的収支があります。		
収益的収入	4億8,031万1千円	(4.9%減)
収益的支出	4億3,609万7千円	(4.5%減)
資本的収入	5,457万円	(434.4%増)
資本的支出	1億7,548万1千円	(28.1%減)

お問い合わせ
財課課財政班

自立・「協働」・健康」の3つのテーマを推進
平成20年度予算は、町の自立を目指し、町民の皆さまとともに歩むための「住民協働課」を設置し、町民公益活動の支援と、放課後子どもプランなどの子育て支援や教育の推進、各種検診や予防による健康増進を図るとともに、町の将来の発展と財政基盤を確立するための地域活性化事業に関する経費を計上しています。

額、さらに議員報酬の削減、一般職員の早期退職の勧奨により、人件費は前年度と比べて1,790万1千円、1.2%の減となりましたが、物件費や維持補修費などを含めた経常的経費については、内部経費の削減を図りながら各種事務事業の抜本的な見直しを行い、健康づくり事業や各小中学校教材備品の拡充、また、後期高齢者医療制度の創設などにより、前年度と比べて9,788万1千円、2.4%の増となりました。